

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／その他資産（ハイブリッド証券）	
信託期間	約9年9カ月間（2015年8月27日～2025年6月9日）	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンドの受益証券
	ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド	世界の事業会社が発行するハイブリッド証券（劣後債および優先証券）
ベビーファンドの運用方法	<p>①主として、マザーファンドの受益証券を通じて、世界の事業会社が発行するハイブリッド証券（劣後債および優先証券）等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。</p> <p>②マザーファンドの受益証券の組入比率は、通常の状態での高位に維持することを基本とします。</p> <p>③保有実質外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。</p> <p>※保有実質外貨建資産とは、当ファンドが保有する外貨建資産およびマザーファンドが保有する外貨建資産のうち当ファンドに属するとみなした外貨建資産をいいます。</p>	
マザーファンドの運用方法	<p>①ハイブリッド証券等の運用にあたっては、以下の点に留意します。</p> <p>イ、投資対象とする銘柄は、取得時において投資適格（ムーディーズでBaa3以上またはS&amp;PもしくはフィッチでBBB-以上）の格付けを有するものとします。</p> <p>ロ、各業種のクレジット・アナリストによる個別発行体の財務分析および信用リスク分析等により、投資対象銘柄を選定します。</p> <p>ハ、投資対象銘柄の中から、繰上償還の実現性、利払いの確実性、格付見直し等のファンダメンタルズ分析を行ない、組入候補銘柄を選定します。</p> <p>ニ、組入候補銘柄の中から、同業他社比較や相対的な割安度合い等を勘案し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>②外貨建資産の運用にあたっては、アムンディ・アイルランド・リミテッドに運用の指図にかかるとの権限を委託します。</p> <p>③ハイブリッド証券の組入比率は、通常の状態での高位に維持することを基本とします。</p> <p>④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	ベビーファンドの株式組入上限比率	
	マザーファンドの株式組入上限比率	
分配方針	<p>分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、経費控除後の配当等収益等を中心に分配するをめざします。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。</p>	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

# ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券ファンド （為替ヘッジあり）

## 運用報告書（全体版）

第10期（決算日 2018年3月9日）

第11期（決算日 2018年6月11日）

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）」は、このたび、第11期の決算を行ないました。

ここに、第10期、第11期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<5670>

最近10期の運用実績

決算期	基準価額				騰落率	公社債組入比率	純資産総額
	(分配落)	税分	込配	み金			
	円		円		%	%	百万円
2期末 (2016年3月9日)	9,418		60		△ 2.2	91.7	4,818
3期末 (2016年6月9日)	9,917		60		5.9	91.1	4,772
4期末 (2016年9月9日)	10,234		60		3.8	98.4	4,361
5期末 (2016年12月9日)	9,945		50		△ 2.3	89.5	5,231
6期末 (2017年3月9日)	10,146		60		2.6	92.1	6,350
7期末 (2017年6月9日)	10,338		45		2.3	93.8	6,270
8期末 (2017年9月11日)	10,476		40		1.7	95.6	6,521
9期末 (2017年12月11日)	10,677		25		2.2	97.1	6,008
10期末 (2018年3月9日)	10,627		20		△ 0.3	93.2	5,814
11期末 (2018年6月11日)	10,456		40		△ 1.2	91.2	5,123

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注3) 公社債組入比率はハイブリッド証券（劣後債、優先証券）を含みます。

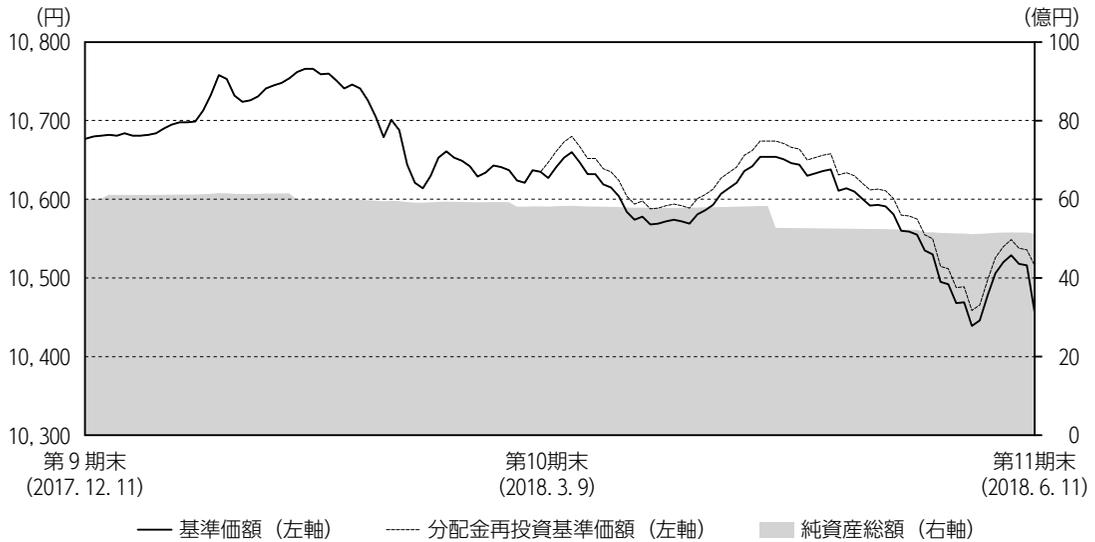
(注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注5) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載していません。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

#### 基準価額・騰落率

第10期首：10,677円

第11期末：10,456円（既払分配金60円）

騰落率：△1.5%（分配金再投資ベース）

#### 基準価額の主な変動要因

当作成期間においては、コーポレート・ハイブリッド証券市場が下落したことから、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）

	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率 組 入 比
		円	騰 落 率 %	
第10期	(期首) 2017年12月11日	10,677	—	97.1
	12月末	10,699	0.2	96.0
	2018年1月末	10,741	0.6	95.7
	2月末	10,643	△ 0.3	91.6
	(期末) 2018年3月9日	10,647	△ 0.3	93.2
第11期	(期首) 2018年3月9日	10,627	—	93.2
	3月末	10,569	△ 0.5	92.6
	4月末	10,633	0.1	92.7
	5月末	10,446	△ 1.7	89.3
	(期末) 2018年6月11日	10,496	△ 1.2	91.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

**投資環境について**

(2017. 12. 12 ~ 2018. 6. 11)

**■コーポレート・ハイブリッド証券市況**

コーポレート・ハイブリッド証券市場は下落しました。

コーポレート・ハイブリッド証券市場は、第10期首より2018年1月下旬にかけて堅調に推移しましたが、2月に入り、FRB（米国連邦準備制度理事会）による利上げペースの加速に対する思惑などから米国を中心に金利が大きく上昇すると、市場のボラティリティが急激に高まり、下落に転じました。その後は、ボラティリティの落ち着きとともに横ばい推移が続きましたが、5月以降も、米中貿易摩擦に対する懸念の高まりや、イタリアおよびスペインの政局不安などを受けリスク回避姿勢が強まったことから、第11期末にかけて軟調な推移となりました。

**前作成期間末における「今後の運用方針」****■当ファンド**

引き続き、「ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド」の受益証券組入比率を高位に維持し、為替変動リスク低減のために為替ヘッジを行ないます。

**■ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド**

引き続き、世界の事業会社が発行するハイブリッド証券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。外貨建資産の運用にあたっては、パイオニア・インベストメント・マネジメント・リミテッド（2018年4月10日付でアムンディ・アイルランド・リミテッドに社名変更。以下、アムンディ・アイルランド）に運用の指図にかかる権限を委託します。

## ポートフォリオについて

（2017. 12. 12 ～ 2018. 6. 11）

### 当ファンド

「ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド」の受益証券組入比率は、当作成期間を通じておおむね100%程度を維持しました。また、為替変動リスク低減のために為替ヘッジを行ないました。

### ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド

主として、世界の事業会社が発行するハイブリッド証券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。外貨建資産の運用にあたっては、アムンディ・アイルランドに運用の指図にかかる権限を委託しました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

1万口当り分配金（税込み）は、第10期は20円、第11期は40円といたしました。収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目		第10期	第11期
		2017年12月12日 ～2018年3月9日	2018年3月10日 ～2018年6月11日
当期分配金（税込み）	（円）	20	40
対基準価額比率	（％）	0.19	0.38
当期の収益	（円）	20	40
当期の収益以外	（円）	—	—
翌期繰越分配対象額	（円）	879	922

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第10期	第11期
(a) 経費控除後の配当等収益	79.61円	82.31円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00
(c) 収益調整金	139.73	139.87
(d) 分配準備積立金	680.50	739.98
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	899.85	962.17
(f) 分配金	20.00	40.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	879.85	922.17

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

引き続き、「ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド」の受益証券組入比率を高位に維持します。また、為替変動リスク低減のために為替ヘッジを行いません。

### ■ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド

引き続き、世界の事業会社が発行するハイブリッド証券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。外貨建資産の運用にあたっては、アムンディ・アイルランドに運用の指図にかかる権限を委託します。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	第10期～第11期 (2017. 12. 12～2018. 6. 11)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	48円	0. 452%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10, 637円です。
（投信会社）	(36)	(0. 339)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(10)	(0. 094)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(2)	(0. 019)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0. 013	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0. 009)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	50	0. 465	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2017年12月12日から2018年6月11日まで)

決算期	第10期～第11期			
	設定		解約	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド	166,126	180,000	907,220	1,000,000

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当作成期間（第10期～第11期）中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種類	第9期末		第11期末	
	□数	評価額	□数	評価額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド	5,500,012	4,758,918	5,009,713	5,009,713

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年6月11日現在

項目	第11期末	
	評価額	比率
	千円	%
ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド	5,009,713	96.6
コール・ローン等、その他	174,552	3.4
投資信託財産総額	5,184,265	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、6月11日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝109.41円、1イギリス・ポンド＝146.74円、1スウェーデン・クローネ＝12.57円、1ユーロ＝129.06円です。

(注3) ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンドにおいて、第11期末における外貨建純資産（4,975,366千円）の投資信託財産総額（5,009,499千円）に対する比率は、99.3%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年3月9日)、(2018年6月11日)現在

項目	第10期末	第11期末
<b>(A) 資産</b>	<b>11,529,134,649円</b>	<b>10,102,339,040円</b>
コール・ローン等	50,380,112	173,960,796
ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド（評価額）	5,745,108,848	5,009,713,119
未収入金	5,733,645,689	4,918,665,125
<b>(B) 負債</b>	<b>5,714,136,117</b>	<b>4,978,475,963</b>
未払金	5,689,886,482	4,945,842,663
未払収益分配金	10,944,053	19,602,148
未払信託報酬	13,187,878	12,796,569
その他未払費用	117,704	234,583
<b>(C) 純資産総額（A－B）</b>	<b>5,814,998,532</b>	<b>5,123,863,077</b>
元本	5,472,026,859	4,900,537,128
次期繰越損益金	342,971,673	223,325,949
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>5,472,026,859口</b>	<b>4,900,537,128口</b>
1万口当り基準価額（C/D）	10,627円	10,456円

\*第9期末における元本額は5,627,183,212円、当作成期間（第10期～第11期）中における追加設定元本額は95,826,096円、同解約元本額は822,472,180円です。

\*第11期末の計算口数当りの純資産額は10,456円です。

■損益の状況

第10期 自2017年12月12日 至2018年3月9日  
第11期 自2018年3月10日 至2018年6月11日

項目	第10期	第11期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>△ 6,602円</b>	<b>△ 10,917円</b>
受取利息	218	477
支払利息	△ 6,820	△ 11,394
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>△ 3,390,015</b>	<b>△ 51,299,131</b>
売買益	318,187,714	211,207,125
売買損	△ 321,577,729	△ 262,506,256
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 13,305,582</b>	<b>△ 12,914,030</b>
<b>(D) 当期損益金（A+B+C）</b>	<b>△ 16,702,199</b>	<b>△ 64,224,078</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>372,374,636</b>	<b>308,669,979</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>△ 1,756,711</b>	<b>△ 1,517,804</b>
（配当等相当額）	（ 76,464,743）	（ 68,546,338）
（売買損益相当額）	（△ 78,221,454）	（△ 70,064,142）
<b>(G) 合計（D+E+F）</b>	<b>353,915,726</b>	<b>242,928,097</b>
<b>(H) 収益分配金</b>	<b>△ 10,944,053</b>	<b>△ 19,602,148</b>
次期繰越損益金（G+H）	342,971,673	223,325,949
追加信託差損益金（配当等相当額）	△ 1,756,711	△ 1,517,804
（配当等相当額）	（ 76,464,743）	（ 68,546,338）
（売買損益相当額）	（△ 78,221,454）	（△ 70,064,142）
分配準備積立金	404,994,325	383,367,884
繰越損益金	△ 60,265,941	△ 158,524,131

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は9ページの「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

(注4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：10,741,153円（未監査）

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第10期	第11期
(a) 経費控除後の配当等収益	43,563,742円	40,337,897円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0
(c) 収益調整金	76,464,743	68,546,338
(d) 分配準備積立金	372,374,636	362,632,135
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	492,403,121	471,516,370
(f) 分配金	10,944,053	19,602,148
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	481,459,068	451,914,222
(h) 受益権総口数	5,472,026,859口	4,900,537,128口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ		
1 万 口 当 り 分 配 金 (単 価)	第 10 期	第 11 期
		20円 (10,627円)

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、上記( )内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

《お知らせ》

●外貨建資産の運用に関する権限の委託先の名称変更について

「パイオニア・インベストメント・マネジメント・リミテッド」を「アムンディ・アイルランド・リミテッド」に変更しました。

# ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド

## 運用報告書 第3期 (決算日 2018年6月11日)

(計算期間 2017年6月10日～2018年6月11日)

ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンドの第3期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。
主要投資対象	世界の事業会社が発行するハイブリッド証券（劣後債および優先証券）
運用方法	<p>①ハイブリッド証券等の運用にあたっては、以下の点に留意します。</p> <p>イ. 投資対象とする銘柄は、取得時において投資適格（ムーディーズでBaa3以上またはS&amp;PもしくはフィッチでBBB-以上）の格付けを有するものとします。</p> <p>ロ. 各業種のクレジット・アナリストによる個別発行体の財務分析および信用リスク分析等により、投資対象銘柄を選定します。</p> <p>ハ. 投資対象銘柄の中から、繰上償還の実現性、利払いの確実性、格付見通し等のファンダメンタルズ分析を行ない、組入候補銘柄を選定します。</p> <p>二. 組入候補銘柄の中から、同業他社比較や相対的な割安度合い等を勘案し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>②外貨建資産の運用にあたっては、アムンディ・アイルランド・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。</p> <p>③ハイブリッド証券の組入比率は、通常の状態で高位に維持することを基本とします。</p> <p>④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>
株式組入制限	無制限

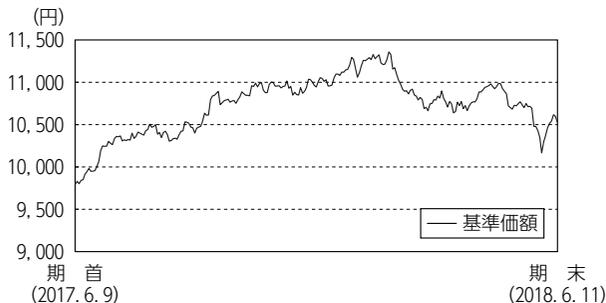
## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
	円	%	%
(期首)2017年6月9日	9,794	—	96.5
6月末	10,243	4.6	96.3
7月末	10,376	5.9	96.0
8月末	10,528	7.5	95.7
9月末	10,791	10.2	96.6
10月末	10,878	11.1	97.1
11月末	10,940	11.7	96.1
12月末	11,151	13.9	96.1
2018年1月末	11,214	14.5	96.8
2月末	10,797	10.2	92.8
3月末	10,688	9.1	94.1
4月末	10,923	11.5	93.5
5月末	10,296	5.1	93.3
(期末)2018年6月11日	10,527	7.5	93.3

(注1) 騰落率は期首比。  
 (注2) 公社債組入率はハイブリッド証券(劣後債、優先証券)を含みます。  
 (注3) 公社債組入率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。  
 (注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：9,794円 期末：10,527円 騰落率：7.5%

【基準価額の主な変動要因】

当期においては、コーポレート・ハイブリッド証券市場やユーロ円為替相場が上昇したことから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○コーポレート・ハイブリッド証券市場

コーポレート・ハイブリッド証券市場は上昇しました。

コーポレート・ハイブリッド証券市場は、欧州各国の中央銀行総裁による金融政策の正常化に向けた発言や北朝鮮情勢の緊迫化などが下押し圧力となったものの、欧州の良好なマクロ経済環境や企業業績を背景に、期首より2018年1月下旬にかけて堅調に推移しました。しかし2月に入り、F R B (米国連邦準備制度理事会)による利上げペースの加速に対する思惑などから米国を中心に金利が大きく上昇すると、市場のボラティリティが急激に高まり、コーポレート・ハイブリッド証券市場は下落に転じました。その後は、ボラティリティの落ち着きとともに横ばい推移が続きましたが、5月以降も、米中貿易摩擦に対する懸念の高まりや、イタリアおよびスペインの政局不安などを受けリスク回避姿勢が強まったことから、期末にかけて軟調な推移となりました。

○為替相場

ユーロ円為替相場は上昇(円安)しました。

欧州各国の中央銀行総裁の発言を受けた量的金融緩和の縮小観測などを背景に、ユーロ円は期首より上昇して始まりました。その後、北朝鮮情勢の緊迫化を受けて調整する局面も見られましたが、ECB (欧州中央銀行)による量的金融緩和政策の出口戦略が意識されたことなどが金利上昇圧力となり、2018年1月にかけてユーロ高基調が継続しました。しかし2月から3月にかけては、世界的に株価が急落するなど投資家のリスク回避姿勢が高まる中で円が買われる展開となり、ユーロは対円で下落しました。また、イタリアおよびスペインでの政局不安を受けて、5月末にかけて一段と下落が加速しましたが、期末にかけては、やや値を戻す展開となりました。

◆前期における「今後の運用方針」

引き続き、世界の事業会社が発行するハイブリッド証券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。外貨建資産の運用にあたっては、アムンディ・アイルランド・マネジメント・マネジメンツ・リミテッド(2018年4月10日付でアムンディ・アイルランド・リミテッドに社名変更。以下、アムンディ・アイルランド)に運用の指図にかかる権限を委託します。

◆ポートフォリオについて

主として、世界の事業会社が発行するハイブリッド証券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。外貨建資産の運用にあたっては、アムンディ・アイルランドに運用の指図にかかる権限を委託しました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

引き続き、世界の事業会社が発行するハイブリッド証券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。外貨建資産の運用にあたっては、アムンディ・アイルランドに運用の指図にかかる権限を委託します。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	2 (2)
(その他)	(0)
合 計	2

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1 万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注 2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

公 社 債

(2017年 6月10日から2018年 6月11日まで)

		買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	千アメリカ・ドル —	千アメリカ・ドル 384 ( — )
	イギリス	千イギリス・ポンド —	千イギリス・ポンド 819 ( — )
	ユーロ (オランダ)	千ユーロ 2,497	千ユーロ 1,128 ( 500 )
	ユーロ (ルクセンブルグ)	千ユーロ —	千ユーロ 1,813 ( — )
	ユーロ (フランス)	千ユーロ 517	千ユーロ 3,053 ( 1,400 )
	ユーロ (ドイツ)	千ユーロ —	千ユーロ 2,700 ( — )
	ユーロ (オーストリア)	千ユーロ —	千ユーロ 362 ( 1,369 )
	ユーロ (その他)	千ユーロ —	千ユーロ 613 ( — )
	ユーロ (ユーロ通貨計)	千ユーロ 3,014	千ユーロ 9,671 ( 3,269 )

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注 2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注 3) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。

(注 4) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

公 社 債

(2017年 6月10日から2018年 6月11日まで)

当 期		期	
買 付	金 額	売 付	金 額
銘 柄		銘 柄	
ATF Netherlands BV (オランダ) 3.75% 永久債	千円 178,922	Grand City Properties SA (ルクセンブルグ) 3.75% 永久債	千円 240,185
TenneT Holding BV (オランダ) 2.995% 永久債	151,736	Merck KGaA (ドイツ) 2.625% 2074/12/12	197,790
Suez Environnement Co (フランス) 2.875% 永久債	68,152	Bayer AG (ドイツ) 2.375% 2075/4/2	105,753
		Orange SA (フランス) 4.25% 永久債	93,280
		Electricite de France SA (フランス) 5.375% 永久債	90,326
		Orange SA (フランス) 5.75% 永久債	68,761
		Suez Environnement Co (フランス) 2.875% 永久債	68,693
		Electricite de France SA (フランス) 4.125% 永久債	56,984
		Vonovia Finance BV (オランダ) 4% 永久債	44,048
		NGG Finance PLC (イギリス) 4.25% 2076/6/18	42,795

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注 2) 単位未満は切捨て。

# ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド

## ■組入資産明細表

### (1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

区 分	額 面 金 額	当 期			組入比率	うちBB格以下組入率	残存期間別組入比率		
		評 価 額		%			5年以上	2年以上	2年未満
		外 貨 建 金 額	邦貨換算金額						
アメリカ	千アメリカ・ドル 2,179	千アメリカ・ドル 2,382	千円 260,642	% 5.2	% —	% 5.2	% —	% —	
イギリス	千イギリス・ポンド 3,673	千イギリス・ポンド 4,044	593,535	11.8	—	11.8	—	—	
スウェーデン	千スウェーデン・クロネ 10,110	千スウェーデン・クロネ 10,466	131,561	2.6	—	2.6	—	—	
ユーロ （オランダ）	千ユーロ 9,795	千ユーロ 10,326	1,332,789	26.6	—	26.6	—	—	
ユーロ （ルクセンブルグ）	千ユーロ 1,200	千ユーロ 1,238	159,886	3.2	—	3.2	—	—	
ユーロ （フランス）	千ユーロ 9,087	千ユーロ 9,784	1,262,763	25.2	—	25.2	—	—	
ユーロ （ドイツ）	千ユーロ 3,014	千ユーロ 3,123	403,171	8.0	—	8.0	—	—	
ユーロ （オーストリア）	千ユーロ 596	千ユーロ 670	86,588	1.7	—	1.7	—	—	
ユーロ （その他）	千ユーロ 3,081	千ユーロ 3,414	440,707	8.8	—	8.8	—	—	
ユーロ （小計）	千ユーロ 26,773	千ユーロ 28,559	3,685,907	73.6	—	73.6	—	—	
合 計	—	—	4,671,646	93.3	—	93.3	—	—	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入力しています。

### (2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	当 期		償還年月日
					未		
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
アメリカ	Enel SpA	社債券	8.7500%	千アメリカ・ドル 1,503	千アメリカ・ドル 1,704	千円 186,437	2073/09/24
	EnBW Energie Baden-Wuerttemberg AG	社債券	5.1250	676	678	74,205	2077/04/05
通貨小計	銘柄数 金 額	2銘柄		2,179	2,382	260,642	
イギリス	Enel SpA	社債券	7.7500	千イギリス・ポンド 953	千イギリス・ポンド 1,056	154,963	2075/09/10
	Enel SpA	社債券	6.6250	449	498	73,092	2076/09/15
	NGG Finance PLC	社債券	5.6250	1,062	1,164	170,894	2073/06/18
	Orange SA	社債券	5.8750	438	480	70,458	永久債
	Orange SA	社債券	5.7500	771	845	124,126	永久債
通貨小計	銘柄数 金 額	5銘柄		3,673	4,044	593,535	
スウェーデン	Telia Co AB	社債券	2.5430	千スウェーデン・クロネ 10,110	千スウェーデン・クロネ 10,466	131,561	2077/10/04
通貨小計	銘柄数 金 額	1銘柄		10,110	10,466	131,561	

ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド

区 分		当 期			未			償還年月日
		銘 柄	種 類	年利率	額 面 金 額	評 価 額		
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額		
ユーロ (オランダ)		Volkswagen International Finance NV	社債券	4.6250	1,480	1,593	205,649	永久債
		Volkswagen International Finance NV	社債券	3.7500	2	2	272	永久債
		Volkswagen International Finance NV	社債券	5.1250	1,447	1,618	208,917	永久債
		Vonovia Finance BV	社債券	4.6250	1,300	1,339	172,811	2074/04/08
		Vonovia Finance BV	社債券	4.0000	1,600	1,709	220,663	永久債
		Gas Natural Fenosa Finance BV	社債券	4.1250	1,000	1,052	135,897	永久債
		TenneT Holding BV	社債券	2.9950	1,666	1,681	216,951	永久債
		ATF Netherlands BV	社債券	3.7500	1,300	1,329	171,626	永久債
国小計	銘柄数 金 額	8銘柄			9,795	10,326	1,332,789	
ユーロ (ルクセンブルグ)		Grand City Properties SA	社債券	3.7500	1,200	1,238	159,886	永久債
国小計	銘柄数 金 額	1銘柄			1,200	1,238	159,886	
ユーロ (フランス)		Electricite de France SA	社債券	4.1250	1,400	1,479	190,959	永久債
		Electricite de France SA	社債券	5.3750	1,900	2,076	268,055	永久債
		Engie	社債券	3.8750	1,600	1,716	221,592	永久債
		TOTAL SA	社債券	2.2500	1,219	1,254	161,842	永久債
		TOTAL SA	社債券	3.8750	1,300	1,416	182,760	永久債
		Orange SA	社債券	4.2500	400	422	54,571	永久債
		Orange SA	社債券	5.2500	400	452	58,400	永久債
		Orange SA	社債券	5.0000	868	965	124,580	永久債
国小計	銘柄数 金 額	8銘柄			9,087	9,784	1,262,763	
ユーロ (ドイツ)		Bayer AG	社債券	3.0000	340	350	45,175	2075/07/01
		Bertelsmann SE & Co KGaA	社債券	3.0000	1,400	1,428	184,322	2075/04/23
		EnBW Energie Baden-Wuerttemberg AG	社債券	3.6250	1,274	1,345	173,672	2076/04/02
国小計	銘柄数 金 額	3銘柄			3,014	3,123	403,171	
ユーロ (オーストリア)		OMV AG	社債券	5.2500	596	670	86,588	永久債
国小計	銘柄数 金 額	1銘柄			596	670	86,588	
ユーロ (その他)		NGG Finance PLC	社債券	4.2500	1,845	1,965	253,655	2076/06/18
		AMERICA MOVIL SA de CV	社債券	6.3750	1,236	1,449	187,052	2073/09/06
国小計	銘柄数 金 額	2銘柄			3,081	3,414	440,707	
通貨小計	銘柄数 金 額	23銘柄			26,773	28,559	3,685,907	
合 計	銘柄数 金 額	31銘柄					4,671,646	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

# ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド

## ■投資信託財産の構成

2018年6月11日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	4,671,646	93.3
コール・ローン等、その他	337,852	6.7
投資信託財産総額	5,009,499	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、6月11日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=109.41円、1イギリス・ポンド=146.74円、1スウェーデン・クローネ=12.57円、1ユーロ=129.06円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(4,975,366千円)の投資信託財産総額(5,009,499千円)に対する比率は、99.3%です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年6月11日現在

項 目	当 期 末
<b>(A)資産</b>	<b>5,009,499,728円</b>
コール・ローン等	251,256,052
公社債(評価額)	4,671,646,982
未収利息	85,114,272
前払費用	1,482,422
<b>(B)負債</b>	<b>1,050</b>
その他未払費用	1,050
<b>(C)純資産総額(A-B)</b>	<b>5,009,498,678</b>
元本	4,758,918,134
次期繰越損益金	250,580,544
<b>(D)受益権総口数</b>	<b>4,758,918,134口</b>
1万口当り基準価額(C/D)	10,527円

\*期首における元本額は6,225,270,691円、当期中における追加設定元本額は166,126,030円、同解約元本額は1,632,478,587円です。

\*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり)4,758,918,134円です。

\*当期末の計算口数当りの純資産額は10,527円です。

## ■損益の状況

当期 自2017年6月10日 至2018年6月11日

項 目	当 期
<b>(A)配当等収益</b>	<b>244,253,746円</b>
受取利息	244,694,609
支払利息	△ 440,863
<b>(B)有価証券売買損益</b>	<b>279,304,306</b>
売買益	350,270,328
売買損	△ 70,966,022
<b>(C)その他費用</b>	<b>△ 868,422</b>
<b>(D)当期損益金(A+B+C)</b>	<b>522,689,630</b>
<b>(E)前期繰越損益金</b>	<b>△ 128,461,643</b>
<b>(F)解約差損益金</b>	<b>△ 157,521,413</b>
<b>(G)追加信託差損益金</b>	<b>13,873,970</b>
<b>(H)合計(D+E+F+G)</b>	<b>250,580,544</b>
次期繰越損益金(H)	250,580,544

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

### 【お知らせ】

●外貨建資産の運用に関する権限の委託先の名称変更について  
「パイオニア・インベストメント・マネジメント・リミテッド」  
を「アムンディ・アイルランド・リミテッド」に変更しました。